



2023年11月10日

各位

会社名 ギークス株式会社
代表者名 代表取締役 CEO 曾根原 稔人
(コード番号：7060 東証スタンダード)
問合わせ先 取締役 CFO 佐久間 大輔
(TEL 050-1741-6928)

業績予想及び配当予想の修正、中期経営計画「G100」取り下げに関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年5月12日に公表した業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 業績予想の修正

(1) 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正

(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 28,000	百万円 900	百万円 700	百万円 680	百万円 360	円 銭 34.94
今回修正予想 (B)	24,400	300	50	40	△165	△15.98
増減額 (B-A)	△3,600	△600	△650	△640	△525	
増減率 (%)	△12.9%	△66.7%	△92.9%	△94.1%	—	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	15,997	—	589	567	244	23.20

(2) 修正の理由

2024年3月期の通期連結業績予想につきまして、G2 Studios 事業における売上高の大幅な減少と、IT人材事業（海外）の売上高の減少によって、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益について当初予想を大幅に下回る見込みとなりました。

G2 Studios 事業において、モバイルゲーム市場の巣籠もり需要が終了し、市場全体の伸び率が縮小傾向にある中で、下半期についても一部タイトルにおいて運用終了計画があることと、受注予定案件のプロジェクトスタートの遅れが重なったことが業績に大きく影響いたしました。これらの売上高減少の影響を挽回するべく、新たな新規開発案件についても営業活動に励んでまいりましたが、パブリッシャー各社において新規開発案件の発注を慎重に検討する動きもあり、当初想定スケジュールでの受注にはいたりませんでした。

また、IT 人材事業（海外）においても、MSP 案件（顧客の人材調達から管理までの一連のプロセスの包括的管理システムを提供する事業案件）の受注について、1 四半期相当期間の遅れが生じたことで売上高が減少いたしました。

主幹事業である IT 人材事業（国内）については概ね想定通りで推移する見込みであるものの、グループ全体の売上高および利益の減少の影響が大きく業績を修正することとなりました。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回予想	—	15 円 00 銭	15 円 00 銭
今回修正予想	—	10 円 00 銭	10 円 00 銭
当期実績	0 円 00 銭	—	—
前期実績 (2023 年 3 月期)	0 円 00 銭	10 円 00 銭	10 円 00 銭

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つとして位置付けており、業績の進展等を勘案しながら、継続的かつ安定的な利益還元を努め、各事業年度の業績、財務体質の強化、中長期事業戦略などを総合的に勘案し、株主価値を最大化させることを念頭に、資本政策を決めていく方針であります。

当期は、上記のとおり、親会社株主に帰属する当期純利益が業績予想を下回っていることから、期末配当を当初予想に対して 5 円減配の 1 株当たり 10 円に修正することといたしました。

3. 中期経営計画「G100」取り下げに関するお知らせ

当社は、2021 年 5 月 14 日開示の中期経営計画「G100」（2022 年 3 月期～2025 年 3 月期）において、最終年度の数値目標として、売上高 260 億円※、EBITDA25 億円※を掲げました。

「IT 人材事業（国内）」、「G2 Studios 事業」、「Seed Tech 事業」に、2024 年 3 月期第 1 四半期連結会計期間より「IT 人材事業（海外）」を加え、目標達成に向けて各種施策に取り組んでまいりました。しかし、現状において、売上高は当初計画から想定内の進捗ではあるものの、EBITDA については最終年度の目標達成が難しい状況と認識しております。計画を再検証する必要があると判断し、中期経営計画「G100」を取り下げることにいたしました。事業戦略を抜本的に見直し、持続的成長に向けた基盤の確立に向けて、新たな中期経営計画を検討してまいります。

※2023 年 5 月 12 日に開示した 2023 年 3 月期決算説明資料において、中期経営計画「G100」の目標数値について、収益認識基準の見直しに伴う最終年度の売上高数値目標の変更と、海外子会社の連結に伴い営業利益から EBITDA への目標指標の変更を行いました。

(注) 上記予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なってくる可能性があります。

以 上